



学校だより

12月号

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ryokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番
TEL (811) 6710

「体験をともなう自発的な学び」

司書教諭 坂田泰美

11月21日(日)に緑園都市駅前で「街マルシェ」が開催されました。昨年は、コロナ感染症予防対策として中止を余儀なくされたので、2年ぶりの「街マルシェ」の開催となりました。本校からは3年生音楽チーム(約半分の児童)と、キッズクラブ和太鼓サークル(緑園東小学校・緑園西小学校合同チーム)の子どもたちが参加しました。小学生やその保護者様、地域のたくさんの方々の方々の応援を受けての発表は本当に素晴らしかったです。天気にも恵まれ、たくさんの方々のご協力を得て、子どもたちが参加できたことに心から感謝申し上げます。

3年生音楽チームの子どもたちは、総合的な学習の時間に取り組んだ、ミュージカル風パフォーマンスを披露しました。地域の方への感謝の気持ちが伝わるように、子どもたちが力を合わせてオリジナル曲を作り、楽器や体全体をつかって、表現をしていました。

キッズクラブ和太鼓サークルの子どもたちは、「泉区伝統保存会」で岡津太鼓を継承されている方々から教えていただいたことをもとに、「清流登り打ち」「打ち出し」「アース(大地)」の3曲を披露しました。リズムや強弱を工夫しながら長胴太鼓と締め太鼓を叩く姿は、圧巻でした。

「街マルシェ」という舞台上、文化的な体験活動する子どもたちを、憧れのような眼差しで見ている子どもたち、練習の成果を発揮できたことに称賛の拍手を送る保護者様、関係者様、そして、このような行事に主体的に参加する子どもたちにあたたかなエールを送る地域の方々が一体となった、今年の「街マルシェ」でした。

体験学習は、放課後遊び・スポーツ・部活動・地域や学校で行われる行事などの「生活・文化体験活動」と、キャンプ・星空や動植物観察などの「自然体験活動」と、ボランティア・職業体験などの「社会的活動」の3つに分類されています。幼少期から青年期まで、多くの人と関わりながら体験を積み重ねることにより「社会を生き抜く力」として必要となる基礎的な能力を養う効果があると考えられていて、社会で求められる仲間とのコミュニケーション能力や自立心・主体性・協調性・チャレンジ精神・責任感・創造力・他者と協働する力等を育てるために、様々な体験活動が不可欠なのだそうです。(※1) また、それらの体験活動や読書、お手伝いを多くしていた子どもは、その後、高校生の時に自尊感情(自分に対して肯定的、自分に満足しているなど)や外向性(自分のことを活発だと思ふ)、精神的な回復力(新しいことに興味をもつ、自分の感情を調整する、将来に対して前向きなど)といった項目の得点が高くなる傾向が見られたようです。(※2)

本校でも、体験を伴う学習活動で身に付けられる上記のような力や自らの課題を自らで解決する力の育成を大切にしています。これらの力は、これからの社会を生き抜く中で必要だからです。それらを身に付ける学びの場の一つである「学校図書館」には、多くの子どもたちが集まってきました。読書で心が満たされたり、自己の疑問が解決されたりする学校図書館は活気であふれています。今年も、図書委員が、「みんなが協力して、本も図書館も好きになってもらえる笑顔いっぱいの図書館になるように、ラストイヤーをもりあげよう」の年間めあてをもとに図書啓発を行っています。11月の図書月間においても、一人ひとりがおすすしたい相手や内容を考えて、図書の紹介をしたり、全校のみんなに来館してもらえるような企画を考えたりしました。現在、12月の人権週間に向けても、心があたたまる本の紹介準備を積極的に行っています。また、あおむしの会の方々や学校司書を含む教職員が力を合わせて、課題解決能力や豊かな情操を育てています。来年には、教室6個分の広さのメディアセンターの開館が予定されています。引き続き、自発的な学習を誘うために、教職員が一丸となって学校教育活動を進めてまいります。今後ともご理解ご支援をよろしくお願いいたします。